

園藝曆

二月 陸月

大 岩 金

小 寒 六日頃
大 寒 十八日頃
二 十一日頃

觀 賞

草花類ではゼラニウム、マーガレット、ヴァイオレッツト、フリージア、プリムラ類、ベゴニア、シテラリア、三色堇、ヒナギク、クリスマススローズ、カーナーション、シクラメン、百合、ヘリオトロープ、水仙、雪割草、福壽草などが温室又はフレーム内で今開花してゐるものゝ主なるものであります。

木物では松竹梅を始め椿、南天、棕櫚竹、寒竹、寒ボケ、橙等であります。

仕 事

一、病蟲害驅除

イ、空地をよく耕して充分に風に曝し又よく霜柱の立つ

やうにしましてこの寒さの爲に地中に發生してゐる疾菌の死滅をはかる事は最も簡單な方法であり且つ相當に有效なものであります、又かくする事は單に病害驅除法であるばかりでなく粘重な土壤を膨軟なものに改良する事も出来るのであります。

ロ、害蟲の卵や蛹をこる事、この節最も多く見られますのは櫻、梅その他所々の枝にたく附いて居ります毛蟲の卵(天幕毛蟲、梅毛蟲)であります。一度孵化致します時はたちまちにして枝中に擴がり到底さりつくす事は困難でありますが今時卵をこりますのは小さい子供達にも容易な仕事であり又さまで嫌味を感じるやうな形もしてゐないのであります。

次に多いのはミノムシであります。が到る所の木にぶら下つて居ります、枯枝のやうな殻を冠つて居ります。是も誰にでも手でこれます事ご思ひます。

ハ、貝殻蟲の類、形にも色にも様々ありまして一見した所蟲ミは思はれないやうに恰かも斑點の如くに葉や枝にくつついて居るのがあります、是等も極寒い時ならへら様のものでおおきしておけば寒さで死にますが安全をはかるためには盆のやうなものゝ上に落して焼いておきます。藥劑を使用致しますならば乳劑の類を使ふのであります。

ニ、温室やフレーム内では蚜蟲が最も多いのであります。是が驅除には簡單にして且つ有效なのはニコヒュームの燻蒸がよいやうであります。

二、施肥

暖かい日を見ては露地植のチューリップやヒヤシンスなど可愛らしい芽先をのぞかせたものに芽の眞上を離れて薄い油粕、又は下肥の液肥をかけてやります。その外生垣や畑の廻りの木々にはその根元から少しはなれた周圍に溝を掘りこゝに寒肥として下肥、油粕、魚肥、堆肥、骨粉、灰等その地によつて適當なものをやります。

三、腐葉土の切り返しをする事

四、乾燥肥料の調製又は攪拌

五、温室やフレームにおいては防寒、保温につまめると同時に暖かな日には注意して換氣を充分に行ふこゝを忘れてはなりません。

六、灌水の注意

冬ははいひながら灌水も等閑には出来ないものであります、わけても霜除下なごは乾燥しがちでありますから折々見廻つては乾いて居る所には灌水しなければなりません、しかし午後三時以後になりましたは折角の水が根に吸収されないうちに夜間の寒さの爲に凍結するやうになりますから必ず午前十時頃からおそくも二時頃までには終るやうにやりたいのであります。

七、收穫

霜除下の蒔蘿草、コマツナ、二十日大根なご小さい手で裁ふにしてはかなりに上成續に作られます。小鳥なご飼つて居られます所ではぎんにか重寶しますやら。フレームの中に入れた蒿苳ですこ今は立派に結球しまして花でなくも新鮮味たつぷりでした所に云ひ知れぬ觀賞價値があるやうに思はれます。